

令和2年7月20日に文教福祉委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

調査事項

総社デニムマスクの取組について

～内容～

製造・販売の状況及び今後について調査するもの。

～質疑～

問：総社デニムマスクの売上金等のお金の流れはどうなっているのか。A型事業所やB型事業所にどのような配分となっているのか。また、市はどのように関わっているのか。

答：お金は全て総社デニムマスク実行委員会の収支となっている。どういうものに対してどういう工賃が必要であるとか、どういうふうに事業所に支払っていくかなど、実行委員会で全てを決めている。市は手伝いや相談にのるなどしている。

問：支援センターは今後なくしていく方向だと思うが、そういったことは話しているのか。

答：総社市デニムマスクプロジェクト支援センターはなくすことは考えていない。市は障がい者千五百人雇用事業を推進しており、障がい者の自立に向けて、一步一步進めるよう手伝いをしていきたいと考えている。

問：販売価格が500円に上がっているが、事業所の収入は増えるのか。

答：400円から500円の値上げとなっており、収入は100円程度増える見込みである。

学校施設長寿命化計画について

～内容～

令和2年3月に策定された学校施設長寿命化計画について調査するもの。

～質疑～

問：計画を進めるにあたって技術系の職員が少ないが、どう考えているのか。事務系の職員が建物を見ても分からないことが多いのではないか。

答：技術系の職員が少なく苦労している。技術系の職員の知見を交えて、計画を進めていくことが必要であることは、重々認識している。他の自治体でいい取組があるかなど、いろいろ知恵を絞り、いい人材が確保できるよう努力していく。

報告事項

“歩得”商品券事業について

～内容～

令和2年度の“歩得”商品券事業の状況について報告を受けました。

～質疑～

なし

ひとり親世帯臨時特別給付金について

～内容～

ひとり親世帯臨時特別給付金の状況について報告を受けました。

～質疑～

特になし